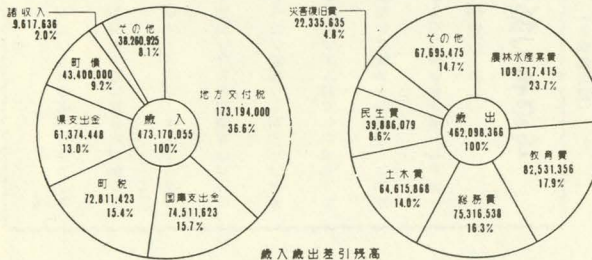


昭和46年度東栄町一般会計決算構成図



歳入歳出差引残高  
11,071,689

歳入	473,170,933	100%
歳出	462,099,244	100%
差引	11,071,689	
農林水産業費	109,717,415	23.2%
教育費	87,531,356	17.9%
衛生費	16,715,777	3.6%
社会福祉費	15,812,499	3.4%
公債費	13,194,204	2.9%
防衛費	12,756,309	2.8%
土木費	9,216,686	2.0%
その他	67,695,475	14.3%
民生費	39,886,079	8.6%
土木費	64,615,868	14.0%
経費費	75,316,558	16.3%

建設的 二億一千四百万円  
歳出

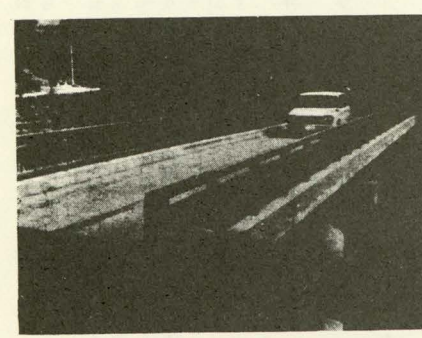
建設的 二億一千四百万円  
歳出

依存財源が66%占める  
歳入

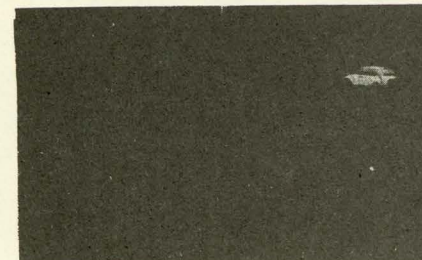
依存財源が、四億七千三百七十万円、前年度決算額との比較では約五千四百六十八万円(十三%)増加しました。歳入財源の主な構成は図で示したとおり、地方交付税が三十三・六割(前年度三十五割)と断然トップ。ついで国庫支出金

町議会議決が十一月十六日午前十時から役場会議室に招集され、昭和四十六年度一般会計決算をはじめ特別会計決算の認定を中心に審議が行われ、それぞれ原案どおり可決されました。このうち一般会計の総決算額は、歳入が四億七千三百七十五万五千五百五十九円、歳出が四億六千二百九十八万六千六百六十四円、差引一千七百七十七万六千八百九十四円四十七年度に繰り越したりました。この日認定された一般会計決算の概要は次のとおりです。

46年度決算を認定  
町議会議決  
一般会計 一千万円余り繰り越す  
町税の収納率九十七・三セントと好成績を



(上) 山村振興交通施策事業の千代姫橋  
(下) 振興山村特開事業の農道向平線



旧事業は別として、産業の振興施策を中心に町道・農道・林道など道路改良整備への重点的投資が大きなウエイトを占めています。

旧事業は別として、産業の振興施策を中心に町道・農道・林道など道路改良整備への重点的投資が大きなウエイトを占めています。一方、人件費や物件費をはじめとする義務的経費や公共施設の運営費などは、給与改訂とか物価の増高などあって増界の一途をたどっています。こうした経費が主となつては総務費、教育費、衛生費などです。

昭和46年度実施の主な事業一覧表 (事業費100万円以上) (単位千円)

事業名	事業区分	事業費	事業名	事業区分	事業費
◆農林水産業費		88,819	町道改良整備事業		
山林開発センター建設	国補	43,436	(岡本大森線改良)	県補	4,003
振興山村特開事業			(西山赤谷線舗装)	〃	1,260
(農道向平線改良)	〃	6,700	(本郷足込線)	〃	1,060
(こんにやくいも集荷場設置)	〃	2,100	(飯田海老線)	〃	4,446
団体営土地改良事業			(下柿野尾呂線)	〃	3,400
(農道河内線改良)	〃	16,666	(浅井西山線ほか2件改良)	単町	1,196
山間地営農等振興事業			側溝整備工事		
(集団茶園改良造成)	県補	1,496	(長沢沢上線ほか1件)	〃	1,144
(畜養殖池造成)	〃	1,444	国県道取付道路舗装工事	〃	2,007
土地改良事業			布川西向線ロケット工事	〃	1,340
(農道毛合線)	〃	1,500	法面種子吹付工事	〃	1,050
(〃日向線)	〃	3,850	◆衛生費		1,233
(〃坂場線)	〃	1,970	患者輸送車購入費	国補	1,233
(〃梨沢線)	〃	2,979	◆教育費		20,492
(〃新畑線)	〃	1,678	小学校施設整備事業	単町	14,842
(〃下川角線)	〃	2,950	中学校施設整備事業	〃	5,650
林道開発事業			◆災害復旧費		22,335
(大原線)	〃	2,050	公共土木災害復旧工事	国補	11,190
◆商工費		12,000	農地農用施設災害復旧工事	県補	10,039
広場造成工事	〃	12,000	道路災害復旧工事	単町	1,106
◆土木費		40,912	◆消防費		4,126
振興山村交通施策事業			(防火水そう1基、積載車2台、施設整備事業)	国補	4,126
(千代姫橋改良)	国補	20,006		単町	

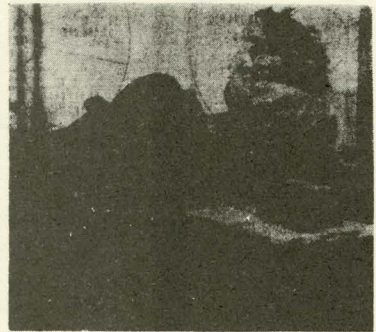
(注) 国補…国庫補助事業 県補…県費補助事業 単町…単独町費事業

東栄町青年の家が完成したのが昭和四十二年ですが、この青年の家における結婚式も完成後ただちに行なわれ、その利用者が去る十一月十六日で百組目が生誕しました。

# めでたく100組目が誕生

## ◎青年の家での結婚式◎ 中設楽の渡辺夫妻の前途を祝福

この施設もとして五年目を迎え、ますます軌道に乗って順調な歩みが続いており、「一生を青年の家で」となかなかの好評を博しています。



事務長から渡辺夫妻へ記念品の贈呈

このおめでた続きのカップルは、中設楽の渡辺文明・真月夫妻で、青年の家において百組目に当たったのを記念して、事務長（町長代理）から、「今後二人の愛情と信頼によって卒く相むすび互いに励まし合い、助けあって平和な家庭を築くよう努力することと、職務に精励してください」と激励の言葉を贈呈して、二人の前途を祝福しました。

また、一年に平均二十組が式をあげているということになり、めでたかったです。東栄町青年の家は、ますます発展の層を重ねつつけることでしょう。

ぼくたちの学校は、前もうしろも山にかこまれています。うんどう場のまわりは、もみじ、いちよう、けやきなどの色を赤・黄・みどりといろいろな色をならべたみたいでとてもきれいです。風がふいてくるるとまろ紙ふぶきみたいにおちおちが落ちてきます。朝学校へ来るとすぐ外に出てうけもちの先生や友だちとおちおちをつめます。あのきれいな花のようなもみじももうおしまいだなあーと思つて花だんへ入れてやります。

吉戸小二年  
伊藤 宏 幸

### 学 校

### 訪 問

ぼくたちは、このつくえは村の人たちがかつてくれました。ぼくたちは、そつぎようするまでだいたいつかいたいと思つています。そのほか、VTRもありです。これは、理科や社会や国語やどうとくの時間につかかって入つてからべんきようがたのしくなりました。また、二時間目のべんきようがおわると、学校じゅうの友だちや先生もいろいろ場に出て、ぎょう開体いよくをび、てつぽう、そのほかいろいろなるうんどうを毎日やります。ぼくは、ぎょう開体いよくが大好きです。このごろじどう会が中心になって学校をきれいにしようというこになり、ゴミを見

ついたらすぐにひろうことにしました。そのためゴミをちらかす人も少なくなり、学校がきれいになりました。これからはぼくたちの力でつばな吉戸小学校にしたいと思つています。

東園目小四年  
盛内 伸 樹

ぼくたちの学校は山の中にあつた。空気がいいし、しずかな所です。このころは山が赤くなつてきれいな見えます。道もたいていほそになって、学校の下の坂道もたいへん歩きよくなりました。小さな学校ですが、みんなかよくくらしています。運動会には村じゅうの人がやりますのでとてもにぎやかです。遠足はお

いろいろなものが学校の中に入れてきています。このころ石油ストーブが教室にはいりましました。もつと前にはほけん室ができました。ほけん室は科学コーナーをすこしとつて作ったがります。病院みたいになつてつたがります。ここで毎月身体けんさをしてもらいます。

ぼくたちの学校は小さいけれどもみんなと先生がいていて、ぼくもそつたと思つています。



四基目 岡本のさいの神  
高さ 11.5m・幅 3.4m

どうさんもおかあさんも中学校の子もいっしょに行きます。ことは江比間という所へひろいに行きました。クラブ活動もよくやります。児童会の行事もありました。十一月は紙しばい大会でしたが、十二月はクリスマスお楽しみ会です。ごはんを給食のおばさんがつてくれました。クリスマスケーキもありました。

いろいろなものが学校の中に入れてきています。このころ石油ストーブが教室にはいりましました。もつと前にはほけん室ができました。ほけん室は科学コーナーをすこしとつて作ったがります。病院みたいになつてつたがります。ここで毎月身体けんさをしてもらいます。

ぼくたちの学校は小さいけれどもみんなと先生がいていて、ぼくもそつたと思つています。

先月号のさいの神紹介の記事で、誤まりがございましたので訂正させていただきます。

訂 正  
さいの神 → 妻の神

みなさん、生活の基礎である住宅や農業生産に欠くことのできない建物を災害から守る手段はできていますか。

愛知県では建物の火災が平均一日に十件ずつ発生し、七百五十万円が灰になっており、特に火災は十一月〜二月ごろ集中的に発生し、今がいちばん危険な時期であります。

火災、落雷、破裂爆発、車両のどびこみや接触、航空機による損害、騒ぎよう等による損害に支払われます。

最近、LPガス(プロパン)ガスによる事故が急激にふえています。その原因もちよつとした不注意により発生したものがほとんどです。安全で便利な燃料として安心してLPガスを使うためには、販売業者の保安管理とともに、家庭での正しい扱い方がたいせつです。

そこで、事故防止のために次の事項を守って正しく使用してください。

● 加入できる建物は  
住宅、納屋、物置、畜舎、店舗、食堂など。

● 経済の変動に強い  
建設費は年々上昇していますが、お金のねりは年々下がっています。建物共済は「短期共済」ですから、経済の変動に対応して加入できます。

● 広い対象です  
(火災共済)

● 安い掛金  
住宅、物置、車庫等は一千五百円、百貨店の補償。店舗、事務所、集会所、神社等は二千円で、百貨店の補償。

● 掛金の納入は、東栄町農協本所の建物推進協会(口座番号一三〇一〇六)へ振込むか、役場経済課へ直接申し込んでください。

### 児童手当の対象範囲が拡大

昭和48年4月から手続きは早めに  
三人以上で養育しているか、または父母の代りに生計費の大半を支出しているか。

2、点火時、点火後はバーナー全部に着火したか確認、燃焼状態をときどきチェック。

3、使用中に火が消えた時は、使用後にガスが漏れた場合は器具コックと栓を閉め、「ほうき」で掃くか「うちわ」であおぐようにしてガスの臭いがなくなるまで点火しないようにしましょう。

### ＝LPガス取扱いの心得＝ 不注意が重大事故を招く

1、点火前にはガスもれの有無を確認しましょう。もれたガスは下の方にとまります。

5、ゴム管はできるだけ短かくし、古くなつたものだけ早めに取り換えるようにし、ガス栓や器具のゴム管はじゅうぶん差し込んで、ホースバンドで締め付けましょう。



### 昭和9年ごろに児童はほとんど洋服を

#### 東栄町の生活のうつりかわり

## 家は防風と水の便を考えて建設

きたたり飛脚に頼んで買ひ入れたりしていたようです。三月一九〇八年(明治四十一年)三月の小学校卒業記念写真を見ても男十八、女十三、全員が和服で洋服を着るようになったのは、昭和初期になってからであり、他の地方よりたいへんおくれていたのであります。

一九三四年(昭和九)本郷小学校(現中央小)六年生の卒業記念写真になると洋服が多くなり男子全員と女子十四名が洋服で十三名はまだ和服でした。

現在では男子の外出はほとんど洋服ですが、女子の外出ははまだ和服が多く用いられています。

東栄町は米の自給ができません。明治の中ごろまで大部分の家庭ではムギ・ヒエ・アワ・キビなどを常用していたが、現在では米食中心の食生活となつてい

明治末期高等科へ通った人達の話では、べんとういもをもつて通学したそうです。

昭和二十一年に下川小学校が戦後の栄養不足を補うために学校給食に副食をとり入れました。以後、町内各校で学校給食をはじめ、三十八年には町内小中全校に完全給食が実施されるようになりました。

第二次大戦ごろまでの家は、主として防風と水の便を考えて建てられていました。また家は作業場として使用される面積が多かったが、現在では道路、採光、合理的間取りなどを考えて建築改築されるようになり生活本位の休養の場にかわつてきました。家の屋根も大部分瓦ぶきであるが、以前はそぎ・杉皮・かやぶきでありました。

私たちの郷土には層をおつて年々繰り返される行事があります。宗教に関する行事、生活の

習慣に従って行なわれている行事など、祖先をまつり稲作を尊び農耕生活を営む上でのたいせ

これまでサラリーマンの奥さんのように、どこにも勤めず家事に専念して、あるいは老後のための年金がなないへん不安定な立場にありました。

夫が勤めているときには夫の給料で生活し、夫が年金受給者になった場合も引き続き夫の年金によって生活を維持することになります。

また、不幸にして夫に先立たれた場合も夫の受ける年金の半分しか支給されず、妻の老後の保障は非常に低いものです。そこで、サラリーマンの奥さ

## サラリーマン夫人も年金を

### 国民年金の任意加入

つなひくさであったものが今日まで続いていると考えられます。

国民年金では二十五年以上(年齢に応じて十〜二十四年に短縮)保険料を納めないで老齢年金を受ける資格ができませんが、サラリーマンの妻である期間は、国民年金に任意加入しない期間も昭和三十六年四月一日以降にかぎり年金を受ける資格期間に算入される扱いになっています。

## 市外局番十一〇四をダイヤルして

### 問い合わせ方法が変わる

市外電話番号の問い合わせはこれまで「一〇五番」を利用していましたが、電話番号案内のスピード化を図るため、十月一日から問い合わせ先は市外局番十一〇四をダイヤルして直接おたずねいただく方法に変わりました。

たとえば、東京の電話番号を

調べたいときは、東京の市外局番「三〇三」をダイヤルすれば、東京の番号案内係がおたずねします。問い合わせは無料です。

この方法で問い合わせのできる都市は、全国の県庁所在地都市、および北九州、川崎、堺の各都市だけ。これらの都市以外はおたずねできません。

どうぞ、おとくな前納払い込みをご利用ください。

## 戸籍の窓口

十一月受付分

よるこび (出生)

出生児 保護者 住所

片桐 克二 邑司 中設楽

請井みさお 博 下田

丸山智恵子 貞市 振草

栗林 孝次 喜一 足込

かなしみ (死亡)

氏名 年齢 世帯主 住所

佐々木徳治郎 90 静夫 東園目

原田 とも 84 てる 三輪

山本すき 51 正二 三輪

亀山三代松 85 正夫 下田

本田 金栄 46 重市 御園

原田 是 83 勉 中設楽

金田 輝代 23 友男 〃

松下 幸一 77 茂人 振草

折地 又吉 82 かめ 西園目

神谷 清吉 76 房治 三輪

青山 直十 79 隆美 振草

## お互いに楽しい正月を迎えよう

### スリ・あき巢等の思わぬ被害に注意

(一) 犯罪と非行をなくして明るく新年を

住民のみなさん、一九七二年もあとわずかになりました。道行く人々の足どりのなにかとあたたかさを増してきました。待望のボーナスそして歳末商戦のチラシや看板に誘われるように大ぜいの人がが買物に出かけます。それをねらうドロボウもことし最後のかせぎときと目を光らせています。お互いがスリひつたり、あき巢、サキなどの思わぬ被害にかけられないようにしたいものです。

○ スリ被害に注意

①買物客で込み合う場所、バス電車内等においてスリ被害にか

## 広報通信欄



ひとことお願いして、るす中にあき巢ドロボウにはいられないように注意しましょう。

(二) 年末年始の死亡事故をなくそう

昨年に比べ件数、死傷者とも大幅に減らすことができましたが、お互いが事故の恐ろしさを

## ふくらむ心のゆとり

### ボーナスは郵便局の定期貯金へ

ことしもボーナスシーズンがやってきました。サラリーマンにとって夢がふくらむ楽しいときです。あれこれと楽しい買い物やレジャー計画などの話題で茶の間かぎやかなことでしょう。

しかし、たいせつなボーナスも、買ったり、つかったりだけでは、こともがつかつかいを手

## ふるさと歌壇

### 十一月詠草歌

台風の爪跡くらきかげりもつ山の紅葉を見て立ちつくす 金指 節子

忘れたき想いよ今日も胸にあり木犀の香の匂いくる道 内藤 幸

西陽射す八ツ手の花に蜂むれて花粉をこぼす秋風の庭 原田 隼

丈夫き竹のてっぺんしなわせて声高々と百舌来鳴く朝 梅 一田 トシ

海みし水に紅葉写す板敷川潮毎に光れ白き水音 岡田 つぎ

芋稗にしみ入る日射し地にたまれ小嬢舟よりきてこぼれ実さは 佐々木 憲

言ひ知れぬ秋の入り陽の淋しさよ見上ぐる山のもみじ目にしむ 大野 むつみ

柿の葉の散り重なりて初霜のむりし朝なり足袋はきてゆく 鈴川 三重